

Macショートカットキー厳選5選 一覧表やトラブルの対処法も紹介

Macのショートカットキーには多くの種類があります。本記事では、Macの操作が不慣れな方でも、スムーズに操作できるようになる5つを厳選しています。また、業務中に使える一覧表やショートカットキーが効かない場合の対処法、ショートカットキーの追加や変更方法もあわせてご紹介します。

1 Macのショートカットキーを使う前に

Macのショートカットキーでは、以下のキーを利用します。

キーの表記	読み方	記号表記
control	コントロール	^
shift	シフト	⇧
option	オプション	⌘
command	コマンド	⌘
fn	ファンクション	fn

注意が必要なのは、controlキーです。MacのcontrolキーはMac独自のもので、WindowsのCtrl（コントロール）キーとは全くの別物です。

Macのcommandキーは、WindowsのCtrlキーと同じように利用できます。例えば、コピーのショートカットキーは、WindowsではCtrl + C、Macではcontrol + Cです。

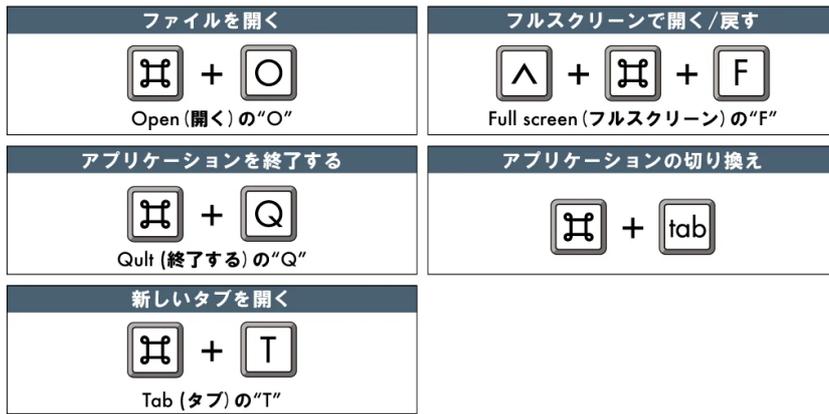
このことを覚えておくと、Windowsの一部のショートカットキーがMacでも利用しやすくなります。

2 最初に覚えたい便利なMacのショートカットキー5選

ここでは、5つのショートカットキーを紹介します。覚えやすいよう、commandキーを利用するものから厳選しました。



Macショートカットキー厳選5選



- ・ [⌘]は⌘(command)ロゴキー、[⌃]は⌃(control)ロゴキー
- ・ プラス記号(+)は、同時に押すという意味。ただし厳密に同時に押す必要はなく、⌘キーを押した状態で、そのまま⌘キーを離さずに、別のキーを押せばOK
- ・ 大文字のアルファベットは、大文字を入力するのではなく、そのキーを押すという意味（Oなら、[O]キーを押す）

Macショートカットキー厳選5選（デザイン：吉田咲雪）

その前に、ショートカットキーの押し方について、command + O を例に、2点お伝えします。

- ・ プラス記号 (+) は、同時に押すことを意味しますが、厳密に同時に押す必要はありません。commandキーを押した状態で、そのままcommandキーを離さずに、Oを押してください。
- ・ [O]は、キーボードの印字に合わせて大文字で記載しています。「大文字のOだから、shift + Oを押すんですか？」と聞かれたことがありますが、そうではありません。ただ[O]キーを押せばOKです。

2-1 command + O 【ファイルを開く】

これまでずっとWindowsを利用してきた方が、初めてMacを利用するときに戸惑うポイントのひとつが、ファイルの開き方です。

Windowsでは、ファイルを選択してEnterキーでファイルを開くことができます。それに対して、MacではEnterキーを押すと、ファイル名の変更画面になり、ファイルを開くことができません。

Macでは、キーボード操作でファイルを開くには、このショートカットキーを利用します。

覚え方は、“Open”（開く）の“O”です。

2-2 command + Q 【アプリケーションを終了する】

Windowsと違い、Macはウィンドウメニューバー左上の×を押してもアプリケーションが終了せず、見えないところで実行された状態になっています。この状態ではメモリを消費するため、Macの動作が重くなる可能性があります。

アプリケーションを終了させる際は、このショートカットキーを利用するようにしましょう。

覚え方は、“Quit”（終了する）の“Q”です。



2-3 command + T 【新しいタブを開く】

Finderで、新しいタブを開くことができます。Finderは、Windowsで言うとエクスプローラー（フォルダ）のことです。

Windows10ではフォルダをタブ表示できないのですが、Macではできます。複数のウィンドウに分かれるよりも、1つのウィンドウ内でタブ分けしたほうがすっきりするので、個人的に好きな機能のひとつです。



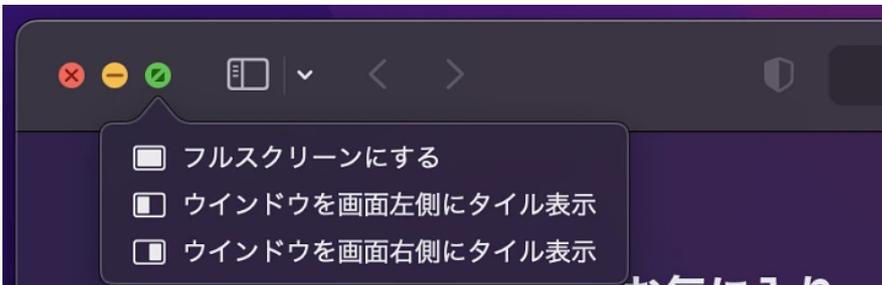
ちなみに、Safari等のブラウザでこのショートカットキーを利用すると、ブラウザの新しいタブが開きます。

覚え方は、“Tab”（タブ）の“T”です。

2-4 control + command + F 【フルスクリーンで開く/戻す】

ウィンドウを大きく表示させたいときや、メニューバーを隠して作業に集中したいとき等に便利なフルスクリーン表示。

ウィンドウ左上にある緑色のボタンを押せばフルスクリーン表示できるのですが、とにかく小さくて押しづらいですね。そんなときに便利なのが、このショートカットキーです。



覚え方は、“Full screen”（フルスクリーン）の“F”です。

2-5 command + tab 【アプリケーションの切り替え】

ブラウザの上にExcelファイルが重なって、その上に別のExcelファイルが重なって、その上からPowerPointファイルが重なって……という場面、ありませんか？

ウィンドウが多く重なると、操作したいウィンドウを探すのが大変です。そんなときに便利なのが、このショートカットキーです。

押し方にコツがあり、commandキーを押した状態のまま、tabキーを1回2回と目的のアプリケーションにたどり着くまで押して、最後にcommandキーを離します。

Windowsにも、Alt + Tabという似たようなショートカットキーがありますが、Macとは少し異なります。Windowsの場合は、ウィンドウを切り替えるのに対して、Macではアプリケーションを切り替えます。

例えば、Excelファイルを3つ開いている場合、Windowsの場合は、Alt + Tabで1つ1つのExcelファイルを選択可能です。

一方、Macの場合は、command + tabを押した際、Excelという1つのアプリケーションとして表示されます。

1つ1つのExcelファイルを選択したい場合は、command + tabでExcelを選択し、commandキーを押した状態のまま、下方向キー（↓）を押して、commandキーを離します。

すると、1つ1つのファイルを選択できる状態になりますので、矢印キーで開きたいファイルを選択して、Enterキーで開くことができます。

3 覚えておくと便利なMacのショートカットキー一覧

この他にも、多くの便利なMacのショートカットキーがありますので紹介します。

3-1 一般的なショートカットキー

command + C	コピー	command + X	カット（切り取り）
command + V	ペースト（貼り付け）	command + delete	ゴミ箱へ移動する
command + Z	操作を元に戻す	shift + command + Z	元に戻した操作をやり直す
shift + command + 3	画面全体のスクリーンショット取得	shift + command + 4	選択範囲のスクリーンショット取得
shift + command + 4 + space	ウィンドウのスクリーンショット取得	shift + command + 5	画面収録

3-2 Finder（フォルダ）のショートカットキー

command + F	検索ボックスを選択する	command + D	複製する
command + N	新規フォルダを開く	shift + command + N	新規フォルダを作成する
command + W	フォルダを閉じる	command + shift + N	新規フォルダを作成する
command + [前のフォルダへ戻る	command +]	次のフォルダへ進む
command + ↑	親フォルダへ移動する	command + ↓	選択した項目を開く
command + 1	アイコン形式で表示	command + 2	リスト形式で表示
command + 3	カラム形式で表示	command + 4	ギャラリー形式で表示



3-3 ウィンドウ操作のショートカットキー

command + H	最前面のウィンドウを非表示にする	option + command + H	最前面以外のウィンドウを非表示にする
command + M	最前面のウィンドウを最小化する	option + command + M	最前面のウィンドウを全て最小化する
command + W	最前面のウィンドウを閉じる	option + command + W	最前面のアプリのウィンドウを全て閉じる

4 Macのショートカットキーを変更・追加する方法

頻繁に利用するショートカットキーがどうしても覚えられなかったり、押しづらい場合は、ショートカットキーを変更するのがお勧めです。また、ショートカットキーが無い操作については、追加もできます。

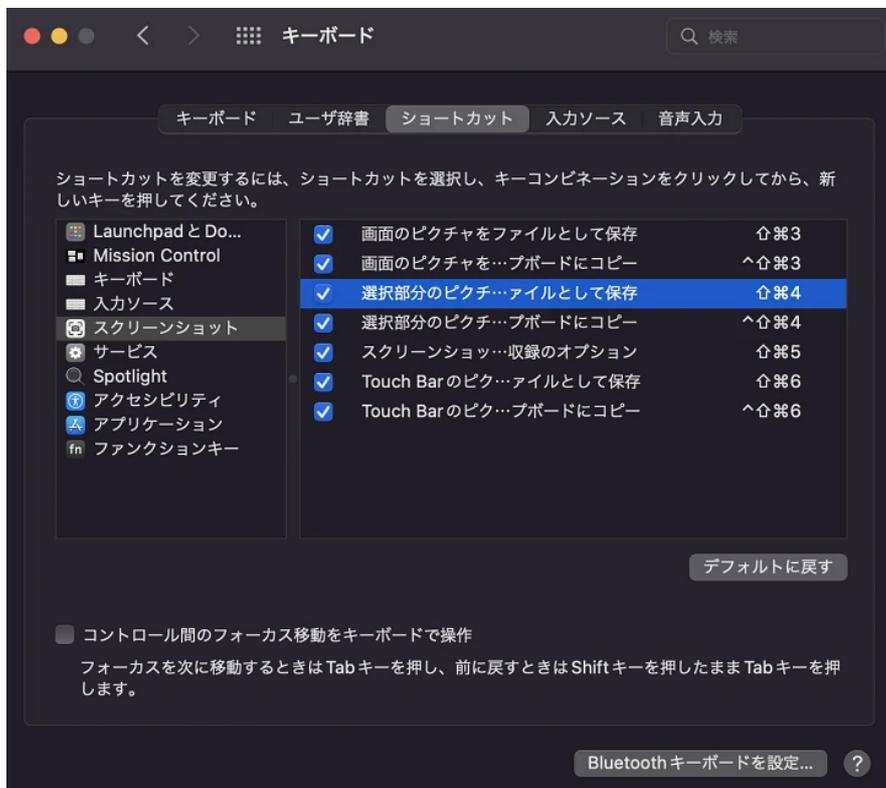
4-1 ショートカットキーの変更手順

ショートカットキーの変更は以下から可能です。

システム環境設定 > キーボード > ショートカット

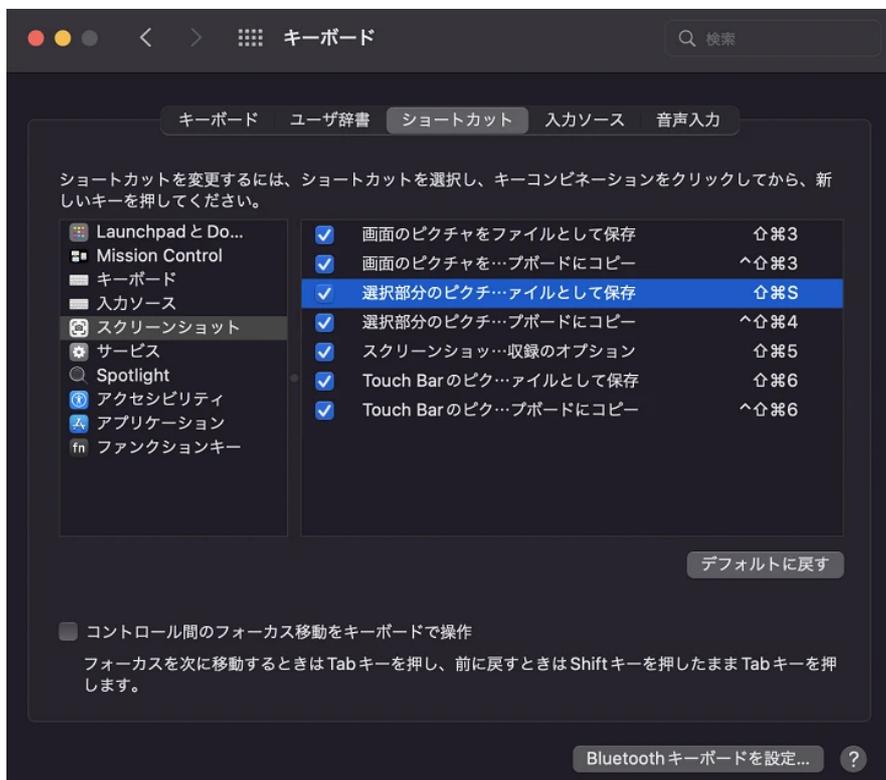
ここでは例として、スクリーンショットを取得するショートカットキーを変更します。

左メニューから[スクリーンショット]を選択すると、スクリーンショット関連のショートカットキーが表示されます。



この中で、上から3番目にある ⌘+4 (shift + command + 4) を、⌘+S (shift + command + S) へ変更します。

コマンド部分 (⌘+4) をクリックすると編集できる状態になるので、shift + command + Sを押してください。成功すると以下のようになり、この時点でショートカットキーが変更されています。



余談ですが、スクリーンショット取得のショートカットキーをこのように変更するのは、個人的にお勧めです。その理由は3つあります。



- ・ 4よりSのほうが押しやすい
- ・ “Screenshot”の“S”なので、覚えやすい
- ・ Windows10のスクリーンショット取得が Win + Shift + S なので、Macも似た形にすると覚えやすい

4-2 ショートカットキーの追加手順

ショートカットキーの追加には、一点注意があります。

アプリケーションの起動に対してのショートカットキーは設定できず、アプリケーションの中で既に定義されているメニューコマンドに対してのみ設定可能です。

ここでは例として、Safariのブックマークバーを表示させるショートカットキーを追加します。

まず、Safariを起動して、以下の2点を確認します。

- ・ ブックマークバーを表示させるショートカットキーが設定されていないか
- ・ ブックマークバーを表示させるメニューコマンドは何か



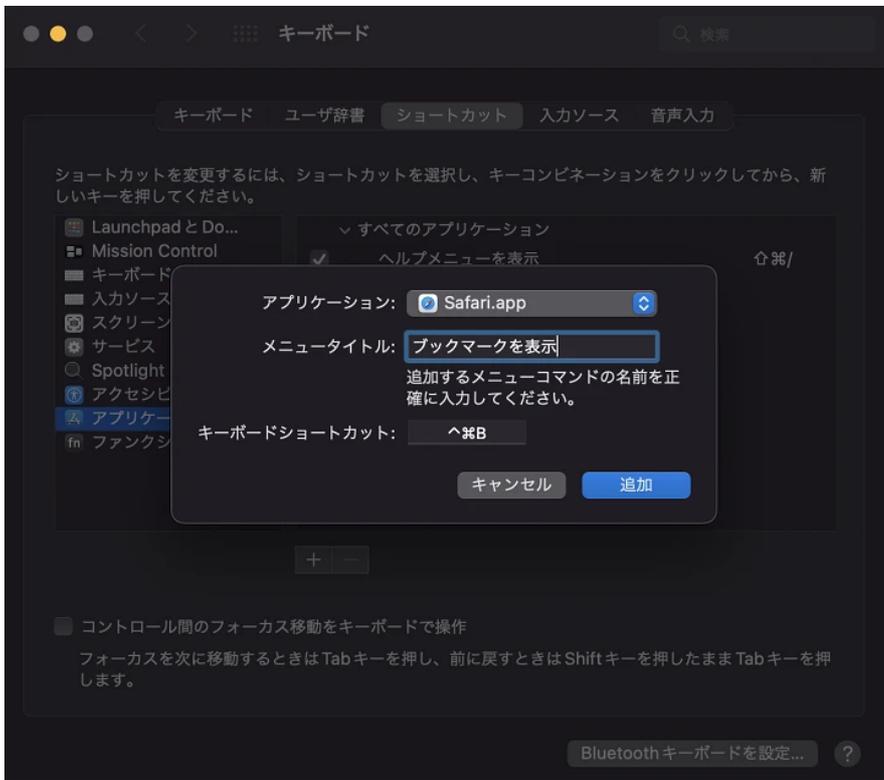
ショートカットキーが設定されているメニューは、メニューコマンドの右側に、ショートカットキーが記号で表記されます。

上記の場合、[ブックマークを表示]の右には何も表示されていないので、ショートカットキーが設定されていないことが分かります。

次に、以下を開きます。

システム環境設定 > キーボード > ショートカット

左メニューから[アプリケーション]を選択して、[+]を押し、以下のように入力します。



ここで、2点注意があります。

一点目は、[メニュータイトル]には、メニューコマンドを正しく入力する必要があることです。この場合は、先ほどSafariの画面で確認した[ブックマークを表示]と入力します。

二点目は、[キーボードショートカット]は、他のショートカットキーと重複しないよう気をつける必要があることです。

今回の場合、覚えやすいように“Bookmark”の“B”を使いたいのですが、shift + command + Bと、option + command + Bは既にショートカットキーが存在するので、control + command + Bを設定しています。

設定が完了すると、以下のようにSafariの[ブックマークを表示]の右側に、設定したショートカットキーが表示されます。



5 Macのショートカットキーが効かない主な原因と対応の仕方

とても便利なMacのショートカットキーですが、意図した通りに動作しないこともあります。本章では、5つのケースとその対処法をお伝えします。

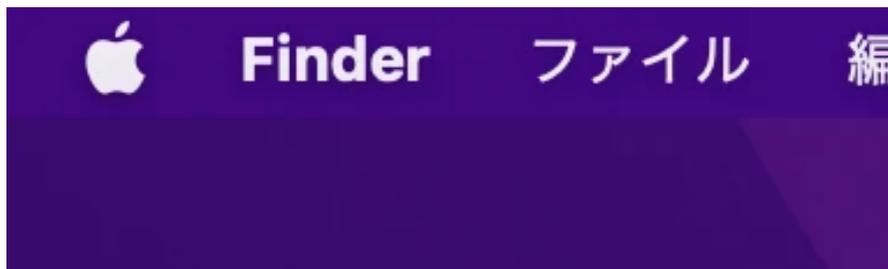
5-1 アクティブなアプリケーションが正しいか確認する

例えば、Safariがアクティブな状態で、Finderを開こうとして command + N を押しても、Finderは開きません。Finderのショートカットキーは、Finderがアクティブな状態で実行する必要があります。



Macの場合、画面左上のAppleロゴの右に、アクティブなアプリケーション名が表示されるので、ここを見ると分かりやすいです。

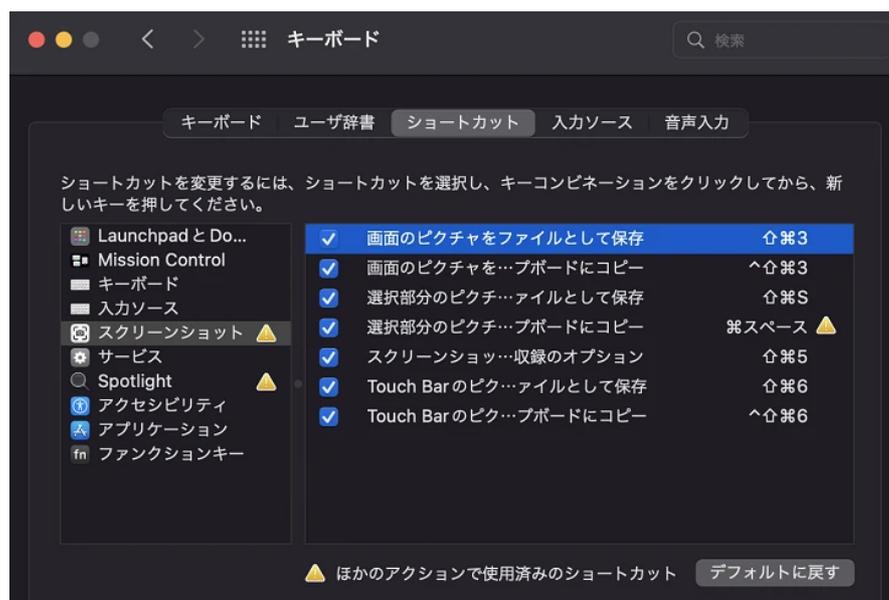
以下の画像では、Finderがアクティブになっています。



5-2 追加/変更したショートカットキーの場合は、重複を疑う

自分でショートカットキーを追加したり変更したりして、正常に動作しない場合は、同じショートカットキーを複数のメニューコマンドに対して設定していないか、確認しましょう。

以下の画面のように[ほかのアクションで使用済み]と、分かりやすく表示されることもあります。しかし、アプリケーション固有のショートカットキーと重複している場合には、このような注意メッセージが表示されないことがあります。



5-3 アプリケーションやmacOSをアップデートする、再起動する

ショートカットキーが正常に動作しないアプリケーションや、macOSが最新版かどうか確認して、最新版でない場合はアップデートしましょう。これで直る場合があります。

最新版であるにも関わらず、アプリケーション固有のショートカットキーが正常に動作しない場合は、command + Q でアプリケーションを終了して、再度起動してみましょう。

5-4 Macを再起動する、電源Off/Onする



Macを再起動すると直ることがあります。また、再起動で直らない場合に、シャットダウンしてから、再度起動すると、直ることもあります。

5-5 Appleサポートへ問い合わせ

ここまでやっても解決しない場合は、[Appleサポート](#)へ問い合わせるのがお勧めです。

Windowsの場合、パソコン本体とOSでメーカーが異なる場合が多いのですが、Macの場合は、パソコン本体もOSもApple社です。なので、Appleサポートへ問い合わせると、パソコン本体の故障でも、OSの不具合でも、サポートを行ってもらえます。

6 Windowsよりもショートカットキーのメリットが大きいMac

「ショートカットキーなんて使わなくても、マウスを使えば操作できるし、業務する上で問題ない」

そう思っている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

たしかに、たいていの操作は、ショートカットキーを使わずとも、メニューバーから実行できます。

ただ、Windowsの場合はウィンドウ上部にメニューバーが付いていますが、Macの場合はウィンドウからメニューバーが離れています。そのため、マウスカーソルを動かす距離が長くなりがちです。

また、これは個人的に思うことですが、ウィンドウ左上にある[閉じる][最小化][フルスクリーン]のボタンが、小さくてマウスやトラックパッドでは押しづらいです。

ですので、ショートカットキーに慣れれば慣れるほど、業務スピードが上がるでしょう。

この記事を書いた人



藤川大

ITエンジニア&IT顧問

2007年からIT業界一筋。現職では社内向けITを担当し、ひとりでも多くの人をITの力で働きやすくするため、日々奮闘中。その傍ら、2020年から副業（複業）で個人事業主として活動開始。中小企業のIT顧問、IT研修事業。仕事の依頼はTwitterのDMへ。

[藤川大の記事を読む](#)
